

# 広島で想い



小田原市立城南中学校  
杉崎知樹

## 人々を苦しめた原爆



一九四五年八月六日午前八時十五分、アメリカ軍のB29超重爆撃機が広島市に原子爆弾を投下した。この爆撃は、広島市に壊滅的な被害を与え、約35万人の死傷者を出した。この惨劇は、人類の歴史に刻み込まれ、二度と繰り返してはならないという教訓を残した。

原爆の被害は、広島市に壊滅的な被害を与え、約35万人の死傷者を出した。この惨劇は、人類の歴史に刻み込まれ、二度と繰り返してはならないという教訓を残した。

## 海軍工廠

戦艦大和は三千の命を犠牲にした。海軍工廠は、戦艦大和の建造に多くの犠牲者を出した。この工廠は、戦艦大和の建造に多くの犠牲者を出した。この工廠は、戦艦大和の建造に多くの犠牲者を出した。この工廠は、戦艦大和の建造に多くの犠牲者を出した。

はその年の暮れまでに十四万人の命を失った。生きた人々の生活も、戦争の影響で深刻なダメージを受けた。戦争は、人々の生活に壊滅的な被害を与えた。戦争は、人々の生活に壊滅的な被害を与えた。戦争は、人々の生活に壊滅的な被害を与えた。

## 平和記念式典

被爆から七十年。その節目に、平和記念式典が行われる。この式典は、戦争の悲惨さを語り、平和の重要性を訴える場である。平和記念式典は、被爆から七十年。その節目に、平和記念式典が行われる。この式典は、戦争の悲惨さを語り、平和の重要性を訴える場である。

戦争は、人々の生活に壊滅的な被害を与えた。戦争は、人々の生活に壊滅的な被害を与えた。戦争は、人々の生活に壊滅的な被害を与えた。戦争は、人々の生活に壊滅的な被害を与えた。戦争は、人々の生活に壊滅的な被害を与えた。

## 編集後記

戦争とは何か、平和とは何か。この問いは、人類の歴史を通じて繰り返されてきた。戦争は、人々の生活に壊滅的な被害を与えた。戦争は、人々の生活に壊滅的な被害を与えた。戦争は、人々の生活に壊滅的な被害を与えた。

## 本川小学校

児童の多くは、戦争の影響で家族を失った。本川小学校は、戦争の影響で家族を失った児童を受け入れた。本川小学校は、戦争の影響で家族を失った児童を受け入れた。本川小学校は、戦争の影響で家族を失った児童を受け入れた。

# 平和をつなぐ

城南中学校  
吉田海月

世界の人が

平和を祈る

八月六日平和記念公園で平和記念式典が行われた。式典には、百か国の海外代表をはじめ、表をほじめ、たくさんの人が参列した。広島に原爆が落とされた



た。

## 悲惨な原爆の体験

私たちは、被爆体験講話で大田金次さんのお話を聞いた。大田さんは、爆心地から九百メートルのところで、両親と弟と被爆した。原爆が落ちたとき、家の中にいた

八時十五分には黙とうが行われた。私はここで平和の尊さを一番に感じた。また、世界の人が平和を祈る。たくさんの人が参列した。広島に原爆が落とされた

あ、水をあげると、火せん光と、熱風を感じた。そらだ。家はくずれ、道路ははなぐ打った。

## 広島を見守り続ける原爆ドーム

今や広島は、原爆ドーム。被爆直前、産業奨励館と呼ばれていた。戦後、市

幕り保存工事を実施し、一九九六年十二月の



世界遺産に登録された。平和記念公園内の原爆死没者慰霊碑から平和の灯と一直線に見える。

## 戦艦

日本の海軍工廠のまことに栄えた戦艦「大和」。

## 大和

と沈没したが、大和の戦艦を造る技術は戦後、大いに役立つ。



## 編集後記

この事業に参加して、私たちが学んだことは、戦争は悲惨だ、平和を祈る、平和をつなぐ。私たちが学んだことは、戦争は悲惨だ、平和を祈る、平和をつなぐ。

## 千羽鶴に想いを...

原爆の子の像。千羽鶴がささげらる。私たちが千羽鶴を奉納した。多く



# 広島新聞

鴨宮中学校  
稲山雅人

## 被爆体験講話

僕たちは広島YMC  
A国際センターに行き、  
大田金次さんの話を聞  
いてきました。話して  
くれたのは原爆が落ち  
た時の様子や後の生活  
の事です。  
話の中で印象に残った  
のは死体が川の水面を  
かくすくらい浮かんで  
いたという事です。し  
かも死体は川の満ち引  
きの影響であまり流れ  
ず、一週間くらい残っ  
ていたそうです。その  
川を渡り、山に逃げい  
かす月くらい生活したそ  
うです。野草で傷薬を  
作ってみたり、食料を  
探しにまた少し燃えて  
いる広島町の町に行っ  
たそうです。僕は話を聞  
いて自分の家も燃え、  
川にはたくさんの死体

が浮いていてもあまりめ  
づに人がいなくなるというの  
はとてもすごいと思います。  
す。

## 平和記念資料館

平和記念資料館では戦  
争や原爆に関係する物や  
写真が展示されています。  
特に佐々木禎子さんの  
話が印象に残りました。  
禎子さんは2歳の時に爆  
心地から16km離れた所で  
被爆しましたが、無傷で  
ました。その後ほとんども元  
気でいたが、小学校6年  
生の秋から徐々に体調を  
崩し始め翌年の2月に白  
血病と診断されました。  
そこで折り  
鶴を千羽折  
れば病気が  
治ると聞い  
た禎子さん  
は鶴を折り  
続けました



が、その願いは  
願わず同年10月  
25日、8か月の  
闘病生活の後、  
12歳の短い生涯  
を終えました。  
この知りせを聞  
いた同級生たち  
が中心となって  
募金を呼びかけ  
ました。各地から  
集められた募金  
によって「原爆  
の子の像」が作  
られました。そ  
してこの話は外  
国にまで語りぬ  
れてい、今も原爆  
のおそろしさを  
訴え続けていま  
す。僕はこの話  
を聞いたとき原  
爆はただ物や人  
の命をうばうだ  
けでなく、その後  
にまた人の命を  
うばい、恐怖を  
置いていくとい  
うのはとてもこ  
ろいことだと思  
いました。

## 平和記念式典

僕たちは二日目  
(8月6日)の7時  
にホテルを出て、  
平和式典に参列し  
ました。式典の会  
場はたくさんの人  
であふれていまし  
た。どうにか人ぞ  
ろを通り席につい  
てから10分後くり  
いに式典が始まり  
ました。式典では  
初めに原爆死没者  
名簿奉納が行われ  
その後、広島市議  
会議長による式辞  
、献花そして8時  
15分に黙とう。平  
和の鐘が鳴りされ  
ました。その後、広  
島市長の平和宣言、  
放鳩、平和への誓  
い、内閣総理大臣、



## 編集後記

僕は今回の事  
業で平和の大切  
さや平和を作る  
のはどれほど難  
しいのが学ば  
ました。日本は  
たった百年の間  
で平和になった。  
今後もしかした  
らその逆になる  
かもしれない。  
なので今は個人  
個人平和のために  
できることをした  
方がよいと思います。





# 平和新聞

校海士学代中  
望月十

た、た一発で、全てを奪われた

一九四五年、八月六日

午前八時十五分

これは、広島に原子爆弾が投下された年、日付、時刻である。

当時、五歳だった大田金次さんはその日の広島で被爆した。その時の様子をこう語ってく

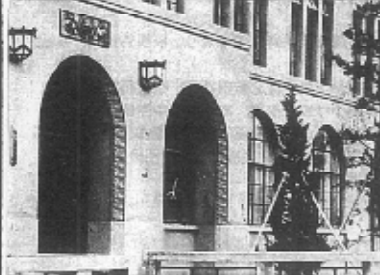
「ほとんどの家が真っ黒になり、川に行く人と死んでいる人、死にかけた人など、たくさん倒れていて、たまたま良かっただよ。どの人も、水を求めてきたが、水をあげたら肌が水を吸収できず、最終的には死んでしまふから、死ぬなさい」と言いながら斬

大田さんは、山で、さつまいもや野菜、取ってきた缶詰など、一発の原子爆弾が人々の全

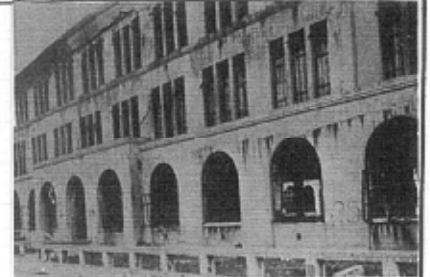
未来を、友を、返えしてくれ

原子爆弾が投下された。爆心地に最も近い学校の本川小学校は、その日の平日授業だった。児童は、三年生以上は学童疎開し、その日は生活の自立がまだ十分でない一、二年生と家庭の事情などで疎開出来ない児童四〇〇名余り、教職員は、校長の他十名が本川小学校にいた。

原爆投下前の本川小学校は、鉄筋三階建てで、学校としての見目は、まるで美術館のようだった。児童にとっ



↑ 原爆投下前の本川小学校



↑ 原爆投下後の本川小学校

原爆が投下された時、L字型だった校舎は、爆風を受け、窓枠は吹っ飛び、壁がぐくの字に折れ曲がった。屋上に

となっていた壁は、散らばり、校具は破壊、講堂は焼失、校庭で遊んでいた児童は、爆風により、黒焦げの子もいれば、黒く

強烈な三〇〇〇度、四

自然発火した炎が窓と、う窓からどうどうと吹き上げ、教室の机、椅子、黒板、本、そして、床板、天井板などを燃し尽した。三〇〇〇度、四〇〇〇度の熱線が、水だけ、恐ろしいに分かる物として、平和資料館には、溶けたガラス瓶が展示されて、溶けたガラス瓶の中、は、その当時の水が入っている。水は、一〇〇度超えると蒸発するが、溶けたガラス瓶は、水が蒸発するより先に、ガラス瓶が溶けて、水が外に出られなくなってしまう。たこを物語っている。

この熱線が人の体に当たると、たとえ数分だけでも、色が変化するだけで、皮膚の色が変化するだけ、さらには、編集後記

私がこの事業に参加して、学んだこと、それは、過去の悲劇を私達は、伝えるべきなのです。

## 忘れてはいけな、広島の悲劇